

第1回沼津市議会定例会

一 般 質 問

* 一般質問は、「一括質問一括答弁方式」、「一問一答方式（一問一答及び複合）」により実施します。

- ・「一括質問一括答弁方式」：通告した全ての質問を1回目に行い、答弁に対する再質問として2回目及び3回目の質問を行う。
- ・「一問一答」：通告に沿って1回目から、全て一問一答により質問を行う。
- ・「複合」：1回目は一括質問一括答弁方式で行い、2回目以降から一問一答に切り替えて行う。

令和5年6月19日、20日、21日

順 番	氏 名	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	12番 尾 藤 正 弘 *一括方式	1 沼津アルプスハイキングコースの利活用について (1) 現状認識 (2) 整備状況 (3) アドベンチャーツーリズムの視点 (4) 今後の取組 2 本市のごみ減量・リサイクル推進の取組について (1) 現状認識 (2) 雑がみリサイクルの推進 (3) 今後の取組 3 グループホームにおける重度障がい者への支援体制について (1) 現状認識 (2) 行動が激しくなっていく方への支援 (3) 今後の取組 4 インクルーシブ教育の推進と障がいのある生徒の進路について (1) 本市のインクルーシブ教育の現状 (2) 障がいのある生徒の義務教育後の進路に係る支援体制	市 長 教 育 長 関 係 部 長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
2	8番 村木豊 *一括方式	1 地区センターの利用について (1) 地区センターの利用目的及び利用の決定 (2) 飲食を伴う利用の制限 (3) 本市の後援を受けた利用者に対する優遇の有無 2 X-Tech NUMAZUについて (1) プロジェクト推進体制の現状認識と人材育成方法 (2) ロードマップから見たプロジェクトの進捗状況と課題 (3) X-Tech NUMAZUと庁内DX（デジタルトランスフォーメーション）との関連性 3 庁内DXについて (1) 庁内DXの目的 (2) 庁内DXの実施内容と進捗状況及びその課題 (3) 庁内DXの推進体制と人材育成方法 (4) 庁内DXの今後の見通し	市長 関係部長
3	5番 佐藤健一郎 *一括方式	1 準用河川氾濫による浸水災害のリスク低減策について (1) 準用河川の水害対策工事完了までの期間における河川氾濫に対するリスク評価 (2) 準用河川氾濫のリスクへの対応策 (3) 床上浸水の被害が頻発している大平江川への具体的な対応策	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
4	6番 大草満 *一括方式	<p>1 全ての子供の成長、発達を目指す子育て支援制度の推進について</p> <p>(1) 本市における切れ目のない子育て支援の充実について</p> <p>① ライフステージの変化による家庭との信頼関係の構築</p> <p>② 子供の発達に対する家庭及び社会全体の理解促進</p> <p>③ 子ども・子育て支援事業における切れ目のない子育て支援体制の確立</p> <p>(2) 乳幼児期における健康診査結果の利活用について</p> <p>① 1歳6か月児、3歳児健康診査結果の利活用</p> <p>② 児童発達支援センターみゆきにおける発達に課題を持った児童、家庭への相談体制</p> <p>2 若い力を活用した地域防災の在り方について</p> <p>(1) ふじのくにジュニア防災士養成講座への取組の現状と今後の活用について</p> <p>① ふじのくにジュニア防災士養成講座の県及び市の実態</p> <p>② 本市のジュニア防災士資格取得状況と活動の現状</p> <p>③ 中学生、高校生の力を活用した地域防災への取組</p>	市長 教育長 関係部長
5	22番 梶泰久 *一括方式	<p>1 火災による廃棄物について</p> <p>(1) 火災によって生じた廃棄物処理の現状</p> <p>(2) 清掃プラントへ自己搬入できない被災者に対する対応策</p> <p>2 使用済み天ぷら油のリサイクルについて</p> <p>(1) 取組経過</p> <p>(2) 本市におけるメリット・デメリット</p> <p>(3) 今後の展開</p> <p>3 高齢者や障がい者世帯等のごみの戸別回収について</p> <p>(1) 戸別回収に対する認識</p> <p>(2) 戸別回収の他市の動向</p> <p>(3) 想定される課題</p> <p>4 ごみ集積場所のあるべき姿について</p> <p>(1) ごみ集積場所の設置や使用についての認識</p> <p>(2) 集積場所におけるトラブル解消策</p>	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
6	23番 渡部 一二実 *一括方式	<p>1 チャットGPT等の対話型（生成）AIの市長部局及び教育現場での対応策について</p> <p>(1) 本市の市長部局での対応状況と今後の展望について</p> <p>① チャットGPT等の対話型（生成）AIに対する認識</p> <p>② チャットGPTを試験導入した狙いと期待する成果</p> <p>③ チャットGPT等を導入すべき事務と導入すべきでない事務の基本的な考えと今後の展望</p> <p>(2) 本市の教育現場での対応状況と今後の展望について</p> <p>① チャットGPT等の対話型（生成）AIに対する教育現場の認識</p> <p>② チャットGPT等を教育現場で導入しているか否かの認識</p> <p>③ 宿題・自己学習における保護者（許可権者）とのルール設定</p> <p>2 コード化点字ブロック利活用の展望について</p> <p>(1) コード化点字ブロックに対する認識について</p> <p>(2) X-Tech NUMAZUでコード化点字ブロックを取り上げた狙いについて</p> <p>(3) コード化点字ブロックの実証実験結果について</p> <p>(4) 観光振興への展開を含めたコード化点字ブロック利活用の今後の展望について</p>	市長 教育長 関係部長
7	16番 小澤 隆 *一括方式	<p>1 沼津駅周辺総合整備事業における公共空間等のデザインについて</p> <p>(1) デザインの重要性に対する認識と取り組む姿勢</p> <p>2 市役所業務におけるチャットGPTの活用について</p> <p>(1) 効率化できる作業に関する情報共有</p> <p>(2) よりよい返答を導くための方法論の共有</p> <p>(3) GPT-4（最新の機械学習モデル）の活用の検討</p>	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
8	15番 井原 三千雄 *一括方式	1 市制100周年を迎えた本市の土地利用と都市施設について (1) 本市の土地利用の現状とこれからの在り方について (2) 中心市街地の土地利用と都市施設の見直しについて ① 中心市街地の用途地域の見直し ② 公共交通、特にバス路線の再編 (3) 金岡北部地域の用途地域の見直しと都市施設の改善について ① 用途地域の見直し ② 路線バスの増便、デマンドバス等地域公共交通の運行 ③ ボトルネックの解決	市長 関係部長
9	9番 小泉 宣子 *一括方式	1 本市における空き家対策について (1) 空き家の現状と課題 (2) ワンストップ相談窓口の周知と取組状況 (3) 空き家バンク制度の取組状況 (4) 空き家の除却補助制度の活用状況 (5) 空き家を利活用することへの認識 2 移住定住促進策について (1) 移住定住促進策の取組とその効果に対する認識 (2) 今後の取組 3 市制100周年を契機とした小中学校における伝統・文化の継承について (1) 現在の取組 (2) 今後の取組 4 梅雨前線と台風第2号による大雨の被害について (1) 原地区及び大岡地区の浸水被害状況 (2) 発災時の本市の対応 (3) 原地区における近年の対策 (4) 今回停止した白滝排水機場等の管理状況	市長 教育長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
10	18番 山下 富美子 *一問一答	1 6月2、3日の大雨に関連する災害について (1) 被害状況 (2) 災害体制及び職員の配備体制 (3) 線状降水帯発生時の対応 (4) 排水機場の状況と体制 ① 全容と管理運営体制 ② 被害の経緯と状況及び課題等 (5) 今後の治水対策の在り方 2 防災拠点となる市庁舎の業務継続性の確保について (1) 洪水浸水対策の現状と認識 (2) 課題と取組	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
11	17番 江本浩二 ＊一問一答	1 清掃プラント（ごみ焼却場）整備に当たって、1974年（昭和49年）11月14日に井手敏彦市長と清水町外原区長及び清水町外原区闘争委員会委員長の3者で交わした覚書について (1) 内容 (2) 附属文書の認識 (3) 法的拘束力 2 清掃プラント稼働に当たって、1976年（昭和51年）10月29日に沼津市長と清水町外原区長及び清水町長の3者で交わした公害防止協定について (1) 認識 (2) 「覚書の将来計画は公害防止協定の事前協議に引き継がれている」とする根拠 (3) 「覚書の将来計画は公害防止協定の事前協議に引き継がれている」とする背景 (4) 「覚書」の相手方の理解と同意 3 新中間処理施設整備計画の環境省補助金について (1) 補助金内示保留の事実の有無 (2) 環境省の説明 (3) 市議会への報告 4 環境省の見解以降の「覚書」への対応について (1) 「覚書」を履行するための対応 (2) 同意を得るための対応 (3) 清水町外原区が示している「静観」について ① 意味 ② 背景 ③ 環境省の受け止め (4) 「正攻法でない手法も考えてほしい」の意味 5 本市の公文書管理について (1) 意義、重要性の認識 (2) 他の行政機関との打合せ、協議の記録の取扱い (3) 「沼津市副市長と清水町副町長との協議概要」についての認識	市長 関係部長

順番	氏名	要旨	答弁を 求める者
12	10番 大場 豪文 *一括方式	1 原地区の水害対策及び対応について (1) 避難所設置場所 (2) 乗用車等の避難場所 (3) 前川水門及び前川排水機場 (4) 道路通行規制のタイミング (5) 水害被災者への支援 (6) 本市と自治会との今後の連携	市長 関係部長
13	1番 川口 慶 *一括方式	1 市制100周年を迎えるに当たっての「沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」に基づく本市のまちづくりの内容とその目指す姿について (1) 本市における人口減少問題の認識と問題に係る政策と評価 (2) 地域経済の活性化と中心市街地の活性化を目指す本市のまちづくりの具体的な内容と活性化が図られるとする根拠 (3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる施策についての認識と具体的な支援策 (4) 自然災害への対策をはじめとした安全・安心で誰もが暮らしやすい地域づくりの在り方 2 沼津市長期財政に関する試算について (1) 沼津駅周辺総合整備事業及び本市の公共施設建て替え等に係る財源確保の今後の見通しとその根拠	市長 関係部長
14	2番 高橋 秀子 *一括方式	1 本市における平和教育の取組について (1) 本市の今までの平和教育の取組とその評価 ① 「核兵器のない平和な世界の実現を求める‘97沼津宣言」以降の取組状況と評価 ② 平和を考える小中学生作文集の取組とその活用方法 (2) 今後の取組について ① 広島・長崎への平和学習派遣事業や被爆体験伝承者派遣事業の開始 2 本市の海岸の環境保全について (1) 大雨や台風による大量の流木等の対応処理 (2) 堆積している流木等の処理 (3) 大雨や台風のたびに繰り返されている現状及び今後の取組	市長 教育長 関係部長